

消防団たずね歩き

神戸市北消防団大沢支団

【わがまち 大沢町】

大沢町は、神戸市北部に位置する人口 1,000 人に足らず、山と田園地帯に囲まれた農業中心の町です。

周辺には、高速道路ジャンクション、イオンモールやアウトレットなどの大規模商業施設や道の駅があり、週末には郊外からたくさんの人々が訪れます。国の重要文化財である豊歳神社をはじめ、歴史のある文化財が残る町でもあります。

【消防団活動】

大沢支団は本団をはじめ、6分団で構成されており、積載車7台、小型動力ポンプ7台、団員120名で活動しています。春には山火事を想定した山火事防止訓練や、市民救命士講習を行っています。

山火事防止訓練は、高低差のある山間で、池を水利とし、7台のポンプを等間隔で連結し、筒先での水圧や中間ポンプ圧の確認を行い、指揮所から各分団へ無線連絡し、万が一の火災に備えた実戦的な訓練を行っています。

秋には防災福祉コミュニティと合同で、規律訓練や、建物火災を想定した消火訓練を、消防署と連携して行っています。昨今の異常気象や台風による防災指令発令時には、支団本部と各分団が協力して、地域の災害を未然に防ぐ活動や見回りを行い、防災福祉コミュニティと連携した活動を行っています。

【学校園との活動】

小学生の授業の一環で、消防団活動を紹介する機会があり、地元小学生に消防団詰所をはじめ、積載車や設備、装備の説明を行い、火災現場や災害での活動を紹介させていただきました。

未来の消防団となるべく子どもたちに、消防団の魅力が伝わっていれば幸いです。

年々高齢化が進む消防団ですが、地域の安全・安心のために今後も活動してまいります。

執筆者 大沢支団 池鍋博幸

